



パワー

(電力・動力)

2013

春

株式会社 **ホンマ電機**
情報紙65号

発行所
株式会社 ホンマ電機
神奈川県相模原市南区上鶴間1丁目12-1
電話 042(746)1616(代)
ホームページ **ホンマ電機** 検索
発行責任者 本間俊三

電力供給の課題は、ピークからベースに

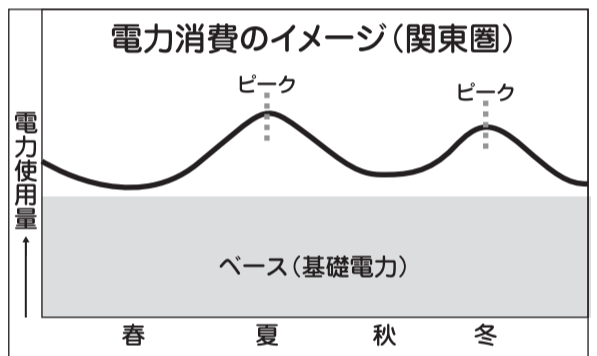
電力供給は原子力から化石燃料が主となり、コストの高い輸入に頼らざるを得ません。電力供給の課題は、かつて需要ピーク時でしたが、今や供給基礎電力即ちベースに移行。ベースについて考察しました。

財務省が1月に発表した2012年の貿易統計によると、輸出から輸入を差し引いた貿易収支が6兆9千億円の赤字となりました。2年連続の赤字です。第2次石油ショックで輸入原油価格が暴騰した1980年の赤字額(2兆6129億円)をはるかに上回っています。

その要因のひとつは、言うまでもなく円高とエネルギーの輸入増大にあります。

弊社は、電気エネルギーを需要者が生産活動・商業・医療・生活などで、安全に効率よく活用できるようにお手伝いさせて頂くことを生業としていこうかと考えています。

今更に取り上げたベースというのは、24時間365日発電し供給しなければならぬ文字通り基礎電力のことです。基礎電力即ちベースを確保するために投入された燃料は、これまでは原子力燃料でした。それが今日、ベースは完全に化石燃料に置き



替わっています。ベースが化石燃料に替わったことにより、日本では原油や天然ガスの消費が大幅に増え、更には国際的であった温室効果

ガスの削減目標の達成をも断念せざるを得なくなりました。

必要電力量をいかに賄うか、まずピーク時にはどのように賄っているかを考えてみましょう。

3・11以前の休止中や廃止直前の火力発電プラントを、大急ぎで整備して再稼働しました。また事業者(電力会社)同士の電力融通なども大きな力になっています。更には、工期の短いタービンやディーゼル発電機を加勢することで、かろうじて供給力確保がなされています。加えて、需要を抑えることも大停電を引き起こすことなく、危機を乗り切る要素となっています。次にベースについて考えてみましょう。

2013年 私の提言

代表取締役 本間俊三
昨年11月末ライオンズクラブは「思春期のライフスキル教育」と題したセミナーを開催。神奈川県・山梨県を中心とした330B地区「青少年健全育成」事業を担当する委員会が企画し準備したものです。これはライオンズクラブ国際協会が提唱し推奨・支援する「ライオンズクエスト」と呼ばれる教育プログラムであり、セミナーの目的はメンバー研修でした。県内自治体の全教育委員会にもご案内しました。

思春期の生きる力を育む教育

が残念ながら参加は僅かでした。ここ一二年、学校や生徒に関する事件や話題が多く、滋賀県の中学校で起きたいじめ自殺、大阪の高校生体罰自殺などは追いつめられての自殺で特に痛ましい。こうした表沙汰になる事件は氷山の一角で、クラスの仲間から心理的、肉体的攻撃を受け、心理的苦痛を感じている子供たちは決して少なくありません。また、攻撃が仲間だけでなく物に向かった場合は校内

破壊が起こり、壁や天井など器物の破壊となります。校外に出ても然りです。セミナーの第1部は、青少年の今日的課題について、神奈川県教育委員会の子ども教育担当職員からの報告。第2部は、ライオンズが提唱する「思春期のライフスキル教育」実践校の事例発表でした。6年前、荒れに荒れた学校・生徒を何とか立ち直らせたという模索していたとき、偶然めぐり合った教育プログラムが「思春期のライフスキル教育」のプログラムであったそうです。取り組む前と後の学校と生徒の変化が具体的に報告されました。本プログラムは、思春期の子どもたちが学校で学びたいことであり、大人が学校で教えないことであると思います。意志を決定する力、人間関係を築く力、自分の考えを表現する力、周りの人々と仲良く付き合う力を、教室と地域で育むことが出来ることを確信しました。



61 近況報告



■忘年会パトリックキソガーデン
平成24年も残り少なくなつた12月7日(金)弊社の忘年会が催されました。会場は弊社のお客様でもある「パトリックキソガーデン」でした。評判の結婚式場と宴会場でもあります。料理はフランス料理のフルコースを頂きました。若手たちの旺盛な食欲をも満たしてくれるポリウムと、結構なお味に、同大いに満足しました。



会社の発展を願って乾杯

■恒例の餅つきパーティー
師走の押し詰まった24年12月28日、年末恒例の餅つきパーティーを催しました。仕事納めと社員の慰労をも兼ねています。全社員が集い小豆餅、辛味餅(大根)、納豆餅、あべかわ、焼き鳥など頂きながら、互いの仕事の苦労をねぎらい、新年の仕事について話し合うなど、楽しく有意義なひとときを過ごしました。



社員の楽しい餅つきパーティー

■専務・花柳真菊鳳「官女」舞う
第46回相模原市邦舞三曲連盟の公演が平成24年10月21日、相模原市民会館で開催され、弊社専務・花柳真菊鳳が長唄「官女」(八島落官女の業を踊りました)。「官女」は1830年江戸中村座の初演。源平合戦で平家門が壇の浦で亡びた後、零落した官女が魚売りなどに身をやつし、栄華を誇った昔を偲ぶ姿を唄った曲です。NHK大河ドラマ「平清盛」に因み選曲されました。



専務の艶やかな「官女」の舞台

BUSINESS
フィールド

期待される効果は、防犯はもとより業務効率向上、社員の意識向上など多岐にわたると同社のお話でした。日々報道される様々な事件への対応のついでに、大切な人や財産を守るための

環境を改善し、犯罪抑止に繋がるように、大切な人や財産を守るための



設置された防犯カメラ

● 企業ルポ



トータルビルケア
株式会社オーチュー

横浜本社 / 〒220-0005 横浜市西区南幸2丁目16番20号

代表取締役

権原 正尚 氏

TEL 045-316-2511(代)

FAX 045-316-2518

URL <http://www.yokohamaohchu.co.jp/>

e-mail info@yokohamaohchu.co.jp



同社が委託総合管理する相模原市立博物館



委託総合管理のプラネタリウム・天体観測室



全天周映写室



パソコンプラネタリウム

- ・株式会社オーチュー横浜本社
- ・設立 昭和60年11月1日
- ・代表取締役 権原 正尚氏
- ・資本金 8,000万円
- ・事業所・支店 相模原、川崎、鎌倉、藤沢、座間
- ・事業内容 建物総合管理・運営

同社はビル管理と運営のエキスパートとして、首都圏の官公庁施設と民間施設を主体に事業を展開。特に横浜市みなとみらいの発展を見越し、いち早く横浜市に拠点を築くとともに、神奈川県下を広く網羅した事業展開を進め、地域社会に貢献を果たしてきました。

同社は、事業の展開に欠くべからざる県や市の数々の事業登録許可証や認定証を取得。また(財)日本品質保証機構による品質管理の「ISO-9001」、環境管理の「ISO-14001」、情報管理の「ISO27001」等をも取得。国際規格でもあるこれらの取得は業容の信頼性、業績の

拡大に多大な弾みをつけました。

同社は「トータルビルメンテナンス企業」として、官公庁施設の維持管理に面目躍如たるものがあります。平成7年11月開館した相模原市立博物館は、開館当初より博物館の委託により同社が全ての管理運営をしています。受付嬢も同社の社員です。委託されるには、期間の1年毎に維持管理・運営内容などの審査があり、入札(安価な費用で管理する業者)で決定されます。

平成15年6月「指定管理者制度」が自治法改正により創設されました。多様化する市民のニーズに効果的、効率的に対応するため、公の施設管理に民間のノウハウを活用、市民サービスの向上と経費の削減を図るのが目的です。制度の導入により、公の施設の管理運営を民間事業者等に委ねられることとなります。この制度の受託には、提案型方式として企業が施設の管理運営を提案し、書類審査などを

経て議会での承認が必要です。厳しい競争と企業力が問われます。

同社が現在、指定管理者制度により受託した事業は3箇所です。今後、同社は全社一丸となり「公の施設の管理運営」に、培ってきたノウハウと外部ネットワークを活用し、「住民サービスの向上」と「経費の削減」を目指して地域社会への貢献に邁進しようとしています。

同本社ビルの工事に、弊社は昨年より従事。「いい仕事でした。将来的に関係事業への参入も」と権原社長のお言葉を賜りました。



自然歴史展示室・原始の芸術

神奈川県青果株式会社

防犯カメラ設置

カメラで防犯

弊社に近く長年の取引先の神奈川県青果株式会社より、場内防犯カメラ設置のご用命を戴きました。場内の一部がスローターの駐車場になることや、建物の新築等による設備改善の環として設置です。

守る、被害にあつた状況を作らないなど、被害にあつた前に対策を立てることが大切です。また地域社会においても全国の警察や関係機関、地元商店街、地域住民・ボランティアなど一体となり防犯活動や啓発活動を行っています。近年では、防犯対策に防犯カメラ設置の補助金を出すまでになっています。



● お客様紹介 64

防犯対策が重要視されています。自分の身は自分で守る、被害にあつた状況を作らないなど、被害にあつた前に対策を立てることが大切です。

カメラの設置は、防犯上の観点だけでなく、効

率の良い業務管理をサポートし、従業員の意識向上や顧客サービス向上にも寄与

設立準備
NPOさがみはら市民公番青パト隊



青パト隊のパトロールカー

設立代表者 本間 俊二

JR町田駅南口には、2007年12月開設した「さがみはら安全安心ステーション」(市民交番)があります。「青パト隊」は更にここを拠点にして活動するために、新たに組織されることとなります。

■設立趣旨書要約

JR町田駅南口は、戦後まもなく特異な飲食店街として開けました。二十数年前から外国人ホステスが働くようになり、周辺の風紀は次第に悪化し一般市民の大きな不安材料となってきました。

13年前、神奈川県警による大規模な取締りを契機に、風俗街の撲滅を目指して市民が立ち上がり、「JR町田駅南口を明るく犯罪のない街にする連絡調整会」が発足。調整会は、警察・行政・市民を巻き込んだ環境浄化市民大会を再三催し撲滅を社会に訴えました。その結果、市民の関心が高まることも取締りも強化され、風俗街は次第に弱体化し今日ではほぼ壊滅。不安要素はかなり解決しました。

以後、連絡調整会は、この地域に二度と違法風俗街を復活させないことを願い「市民交番サポート隊」を結成、交番勤務を支援してきました。しかしサポート隊の高齢化や、新たな若手ボランティアの参加がないという課題が浮上してきました。

そこで地域防犯や交通安全運動充実に、特定非営利活動法人「さがみはら市民交番青パト隊」を設立する必要性がありました。設立により大学生ボランティアや地域若手ボランティアの協力を頂き、現在週1回の青パトロールカーの運行回数を増やすとともに、交番サポート事業も充実させていける可能性があります。

広範なボランティア受入れや事業の継続性と信頼性、活動資金の透明性等の観点からNPO法人化を図る必要があり、ここに「特定非営利活動法人さがみはら市民交番青パト隊」を設立するものです。

平成24年11月18日

法人の名称 特定非営利活動法人 さがみはら市民交番青パト隊

設立代表者 本間 俊二

「思春期のライフスキル教育」プログラム・ライオンズクエスト



主催者として挨拶する本間俊三社長

ライオンズクラブの青少年健全育成部門委員会では、平成12年10月「思春期のライフスキル教育」プログラムの別名「ライオンズクエスト」のパンフレットを作成、配布しました。5千人のメンバーにプログラムの理解と協力を得るのが目的です。

本間俊三社長は同委員会の委員長としてパンフレットの作成を担当し、11月29日には青少年健全育成セミナーを開催しました。セミナーにはメンバーの他に県や各市町村の教育委員会からもご参加頂きました。